

# 宮川の風 第44号

平成30年4月27日(金)発行  
宮川小学校校長室からのたより

荻野目洋子さんのヒット曲「ダンシングヒーロー」に合わせて軽快でコミカルに踊り、バブリーダンスとして話題を沸騰させた大阪府立登美丘高ダンス部。年末にはNHK紅白歌合戦にまで出場するなど、動画サイトの再生回数は5200万回を突破したそうです。そのチームのキャプテンを務めた伊原六花(いはらりっか)さんの記事が4月18日の南日本新聞「かお」に出ていました。その中に、このチームの凄さが伝わるコメントがありました。

「集団で踊るこのダンスは動きと体の角度を徹底してそろえ、メリハリのある表情で〈笑い〉を演出した。『中途半端な面白さが一番しける(しらける)。やるからには極めたいと思った』

私も踊りを観ましたが、確かに面白さの中にとてつもない真剣さを感じられ、観ている間に「笑い」より「感動」で心が震わされてしまいました。一生懸命な姿は、自分自身を高め、観ている人達に感動を与えることができるのです。

裏面の話をお読みください。

昨年の運動会を思い出しました。どの学年も自分たちのプログラムを成功させよう、観ている人たちに感動を伝えようという思いをもって懸命に練習していました。練習の成果を信じ、一生懸命にがんばることが格好いいんだということを教えられながら取り組んでいました。当日の演技に感動を受けた方は多かったと思います。

一生懸命さを茶化したり、わざとふざけてみたりすることが格好いいと思ってしまう人たちがいます。子どもたちには、本当の格好良さはそんなところにはないということを、体験させることをとおしてしっかり教えていきたいものです。

**宮川っ子の皆さん、今の真剣ながんばりは必ずあなたの大きな力になります。信じていこう！**

家庭訪問が終わりました。お仕事の都合などを調整していただき感謝申し上げます。今年度の学級経営や配慮すべき児童の実態などについて、情報交換ができましたことを今後の指導に生かしてまいります。

さて、ゴールデンウィークに入ります。それぞれのご家庭で旅行や買い物などのお出かけ予定もあるかと思えます。くれぐれも交通事故などに遭わないように注意しましょう。

また、子どもたちの遊び方などについても観察し、危険な場所で遊んだり、危険な遊びをしたりすることがないようにご注意ください。よろしくお願いいたします。

さらに、インターネットに接続可能な機器の使い方などについても実態をよく把握され、子どもたちが加害・被害の立場にならないように注意してください。

ご家族での楽しい連休をお祈りします。

## ある日のできごとから



あるさわやかな晴天の日のことです。私は、朝の登校の様子を見終わって、校庭に戻ってきました。見ると校庭の真ん中では、ほんの数人の子どもたちがボール遊びをしていました。もうほとんどの子どもたちが登校を終えているのに、なぜだろうと思いました。どうしてだと思いますか？

校庭の真ん中から周辺に視線を移すと、多くの子どもたちの姿がありました。畑で草を抜いている子どもたち。体育館前の樹木の落ち葉を片付けている子どもたち。アニマルハウスの中で、動物の世話をしている子どもたち。玄関を掃除している子どもたち。多くの子どもたちが、朝の活動に取り組んでいるのです。そして、子どもたちの横には担当職員がついています。朝の活動は、各学校の取組方針がありますが、宮川小学校の朝のボランティア活動は、学校全体に活気を与えてくれています。

朝から畑で活動をした子どもたちの真っ黒な土が付いた手は、一生懸命がんばった証です。一つのことを1年間がんばることで、きっと大きな学びをするはずです。

がんばっている子どもたちに大きな拍手！！

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)